

令和8年度

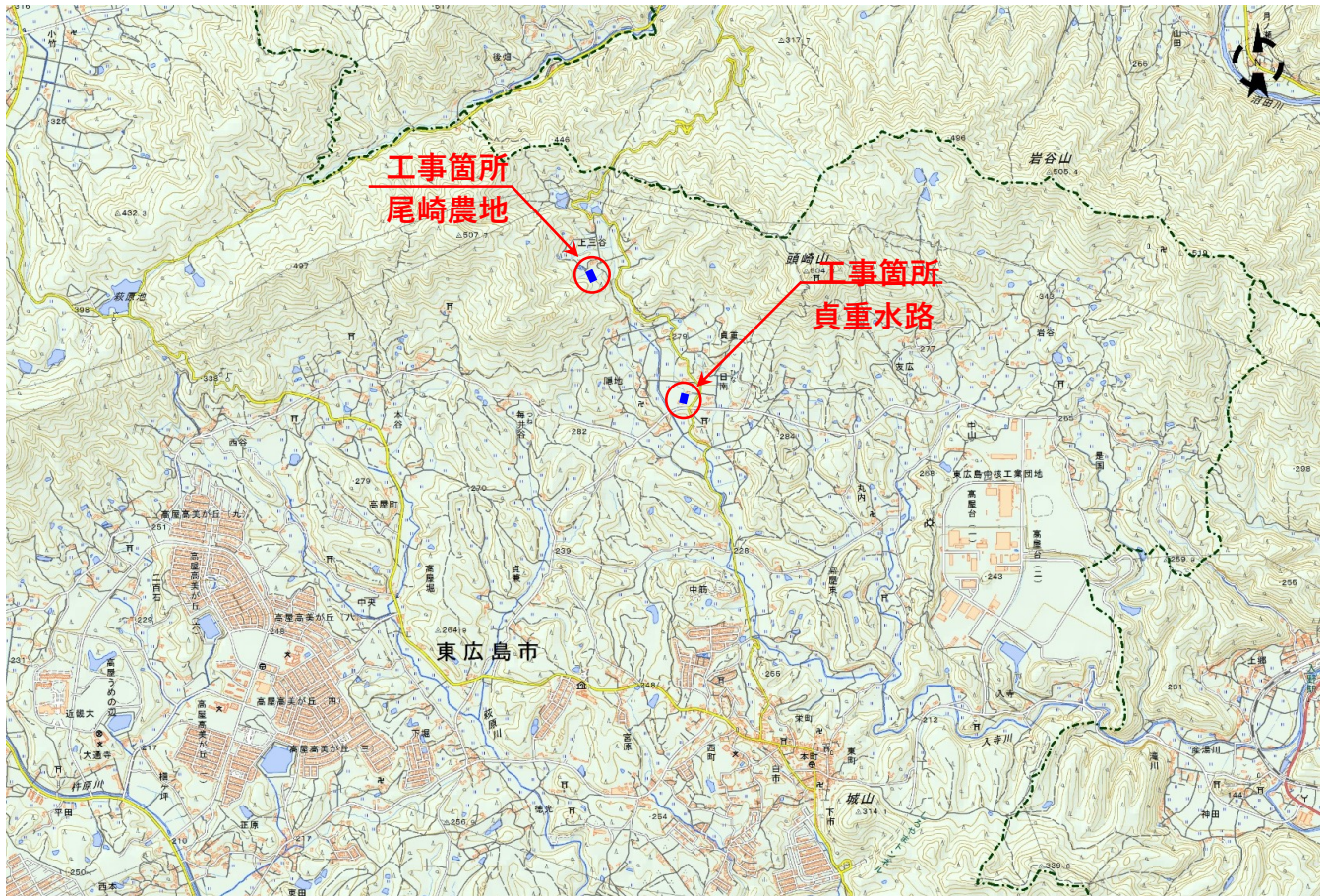
農業用施設災害復旧事業

高屋地区災害復旧工事(8-1)

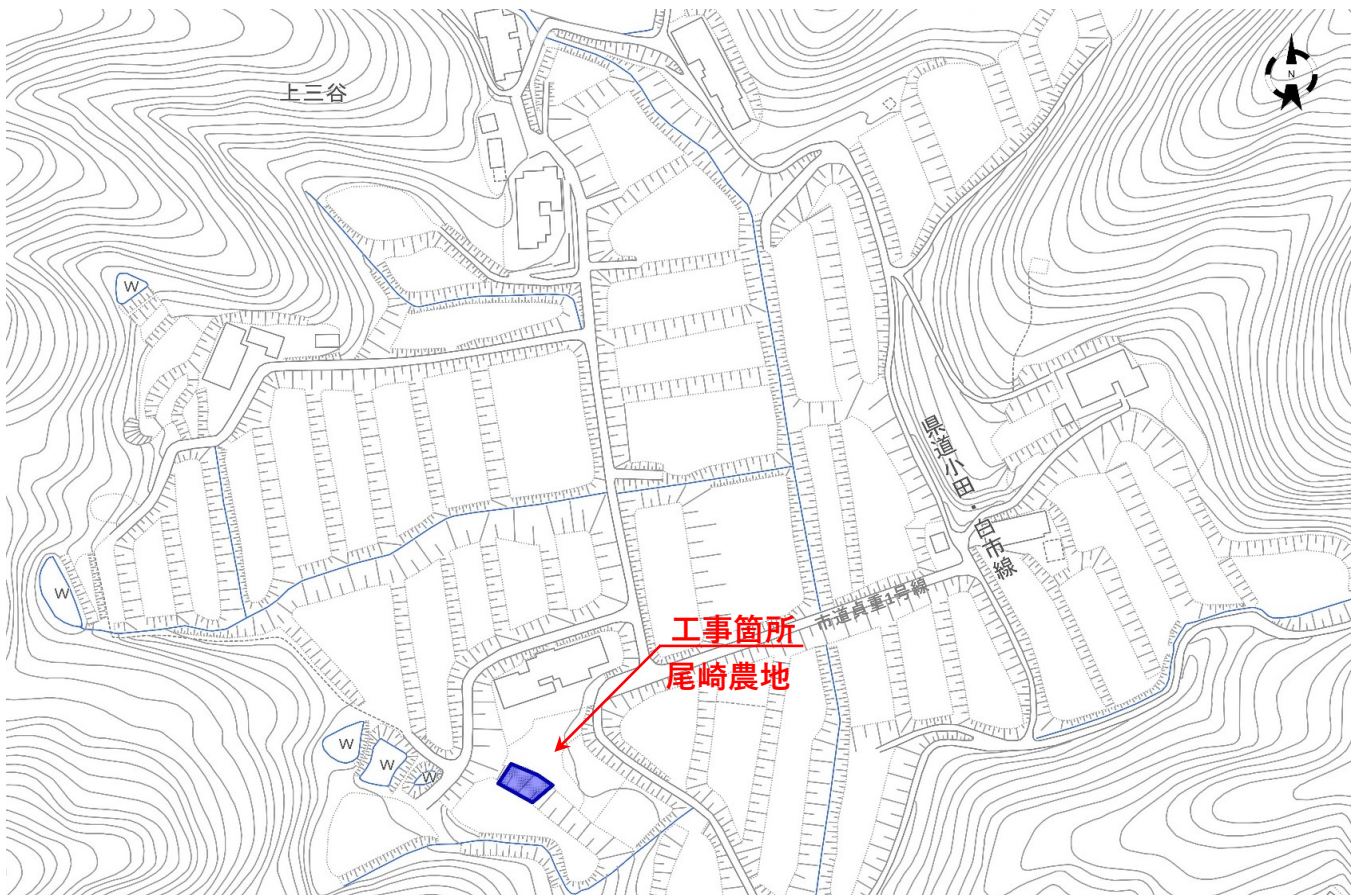
仕様書

施 工 場 所 東広島市高屋町貞重

【広域図】



【詳細図】



【詳細図】



特 記 仕 様 書

(高屋地区災害復旧工事 (8-1))

第1章 総則

1. 適用
2. 前払金
3. 現場代理人の兼務
4. 現場作業終期日
5. 履行報告
6. 官公庁等への手続き等
7. 工事中情報共有システム (受注者希望型)
8. 熱中症対策に資する現場管理費の補正
9. 主任(監理)技術者及び現場代理人の配置について
10. 法定外の労災保険の付保
11. 週休2日適用工事等 週休2日 (農林工事)
12. 建設副産物の取り扱いについて
13. 猛暑時間の施工回避
14. 猛暑日等を考慮した工期延長について
15. 熱中症による健康障害発生時の対応計画

第2章 施工条件

1. 用地
 - (1) 現場の復旧
2. 安全対策
 - (1) 交通誘導警備員・警戒船・保安要員
 - (2) 架空線の防護管に要する費用について
3. 盛土・埋戻土
 - (1) 流用土(工事内流用)
 - (2) 購入土(搬入)(新材料)(農地)
4. 建設副産物
 - (1) 建設発生土(搬出) (建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地(一時たい積))
5. その他
 - (1) 工事現場発生品

第3章 その他

1. 工事関係書類
2. 工事写真
3. 疑義の解決等
4. 仮設工
5. 暗渠排水の有無 (農地)
6. 工事の確認 (農地)

特記仕様書

第1章 総則

1. 適用

本工事の施工にあたっては、「土木工事共通仕様書（令和7年8月）広島版（適用区分「広島」及び「広島県」）」及び東広島市制定の第15編下水道編(最新版)に基づいて実施しなければならない。
この場合においては、次のとおりとする。

- (1) 「広島県」とあるのは「東広島市」と読み替える。（ただし、第1編第1章第1節1-1-1-26第10項、第1編第1章第2節1-1-2-1第3項、1-1-2-8第1項、1-1-2-9第1項、1-1-2-10第1項、1-1-2-11第1項、第6項、第8項、1-1-2-14第2項、1-1-2-16第1項、第3項、第2編第1章第3節2-1-3-1、第3編第1章第2節3-1-2-3第2項においては読み替えない。）
- (2) 「建設工事請負契約約款」とあるのは「東広島市の建設工事請負契約約款」と読み替える。
- (3) 「土木工事監督規程」とあるのは「東広島市建設工事監督事務取扱要綱」と読み替える。
- (4) 「土木工事検査規程」とあるのは「東広島市建設工事検査規程」と読み替える。
- (5) 「建設工事執行規則第19条の1」とあるのは「東広島市建設工事執行規則第19条第1項」と、「建設工事執行規則第41条の2」とあるのは「東広島市建設工事執行規則第41条第2項」と読み替える。
- (6) 「広島県契約規則第2条の1」とあるのは「東広島市契約規則第2条第1項」と読み替える。
- (7) 「土木工事検査技術基準」とあるのは「東広島市の「土木工事検査技術基準」」と読み替える。
- (8) 「低入札価格調査制度事務取扱要綱」とあるのは「東広島市低入札価格調査制度事務取扱要領」と読み替える。
- (9) 「広島県の建設工事入札参加資格」とあるのは「東広島市の競争入札参加資格」と読み替える。
- (10) 広島県の「建設業者等指名除外要綱」とあるのは東広島市の「建設業者等指名除外基準要綱」と「建設業者等指名除外要綱別表第18号」とあるのは東広島市の「建設業者等指名除外基準要綱別表第22号」と読み替える。
- (11) 「建設工事における低入札価格調査制度事務取扱要綱」とあるのは「東広島市低入札価格調査制度事務取扱要領」と、「建設工事における低入札価格調査制度事務取扱要綱第10条」とあるのは「東広島市低入札価格調査制度事務取扱要領第11条」と読み替える。
- (12) 「県発注工事等における暴力団排除のための契約制限要綱」とあるのは「東広島市建設工事暴力団等排除要綱」と読み替える。

(13) その他

編	章	節	条	見出し	項	特記及び追加仕様事項
1	1	2	5	工事の下請負	3から6まで	適用しない。
1	1	2	14	施工管理	1	適用しない。
1	1	2	16	環境対策	4	適用しない。
1	1	3	3	現場代理人及び主任技術者又は監理技術者	5から6まで	適用しない。
1	1	3	4	下請負及び契約の制限	1(2)	適用しない。
1	1	3	5	主要資材の購入		適用しない。
1	1	3	7	契約後VE工事		適用しない。
1	1	3	9	県産材の活用	(2)	適用しない。
1	1	3	10	工事現場の現場環境改善等		適用しない。
1	1	3	11	現場環境改善（ウィークリースタンス）の実施	(4)[2]から[7]まで	適用しない。
3	1	1	1	請負代金内訳書		適用しない。
3	1	1	2	工程表		適用しない。
3	1	1	7	工事完成図書の納品	2から6まで	適用しない。
3	1	1	8	技術検査	3から5まで	適用しない。
3	1	2	1	請負代金内訳書		適用しない。
3	1	2	2	工程表		適用しない。
3	1	2	5	工事完成図書の納品		適用しない。
3	1	2	6	提出書類	2	適用しない。
3	1	3	1	工事完成図書の納品		適用しない。
3	1	3	2	技術検査	2	適用しない。

2. 前払金

契約金額が50万円以上の建設工事の場合は前払金を請求することができる。前払金は請負代金の40%以内とする。また、契約に当たって契約約款特約事項第22項により中間前払金を選択するものにあつては、中間前払金は請負代金の20%以内とする。その他、前金払・中間前金払の適用は次の要領による。

- ・建設工事請負代金前金払実施要領
- ・建設工事請負代金中間前金払実施要領
- ・東広島市余裕期間制度適用工事に係る事務取扱要領

3. 現場代理人の兼務

- 1 現場代理人の兼務については、「技術者等の適正配置について」によるものとする。
 - 2 発注者は、受注者からの申請に基づき、兼務する各工事の内容、工程等を勘案し、現場代理人の兼務について承認の適否を決定し、承認する場合は現場代理人兼務承認書により、承認しない場合は現場代理人兼務非承認書に承認しない理由を記載の上、速やかに受注者に通知する。
 - 3 発注者は現場代理人の兼務について、次に掲げる事由に該当すると認めたときは、現場代理人兼務承認取消書により、その承認を取消すものとする。
 - (1) 兼務を予定する工事の発注者が兼務を承認しないことが明らかになったとき
 - (2) 兼務を承認した日から起算して14日(東広島市の休日を定める条例(平成元年東広島市条例第6号)第1条第1項に規定する市の休日を除く。)を経過した後においても、兼務先の発注者が兼務を承認したことを証する書面の写しが提出されないとき
 - (3) 兼務申請において、重要な事項について虚偽の申告をし、又は重要な事実の申告を行わなかったことが判明したとき
 - (4) 兼務の承認後、重要な事項や重大な状況の変化について報告を行わない等、必要な報告を怠ったことが判明したとき
 - (5) 著しい状況の変化により、兼務を承認することが適当でなくなったとき
 - (6) その他、発注者が兼務を承認することが適当でなくなったとき
 - 4 重要な事項について虚偽の申告を行う等、不適切な申請を行った者、又は、兼務の承認後に重要な事項や重大な状況の変化について報告を行わない等、必要な報告を怠った者に対しては、請負契約に基づく是正措置の請求や指名除外等の必要な措置を行うことがある。
- ※ 同一町内における町とは西条町、八本松町、志和町又は高屋町にあつては昭和49年4月20日前の町の区域とし、黒瀬町、福富町、豊栄町、河内町又は安芸津町にあつては平成17年2月7日前の町の区域とする。

4. 現場作業終期日

本工事の施工に当たっては、工期末の30日前までに、作業を終了しなければならない。

なお、現場作業終期日までに適時、速やかに「土木工事共通仕様書（令和7年8月）広島版」第1編1-1-1-23第2項第3号に記載してある出来高が確認できる資料を監督職員に提出しなければならない。

5. 履行報告

履行報告の提出にあたっては、実施工程表と平面図（施工済み箇所を着色）又は、進捗状況が確認できる写真を添付すること。なお、月締め報告とし、翌月7日までに提出すること。

6. 官公庁等への手続き等

受注者は、関係官公庁及びその他の関係機関との諸手続きにおいて許可、承諾等を得た場合はその書面(写し)を提出するものとし、更新手続き(許可内容が同じもの)の場合は、届出等の鑑のみとする。

7. 工事中情報共有システム（受注者希望型）

- (1) 本工事は、工事中情報共有システムの対象（受注者希望型）である。
- (2) 工事中情報共有システムを利用するにあたり、発注者に連絡の上、利用申込すること。
- (3) 本工事で使用する情報共有システムは次のとおり。

広島県工事中情報共有システム（一般社団法人 広島県土木協会）
<http://www.hdobokuk.or.jp/koujijyoushouhisutemu2.html>
- (4) 工事中情報共有システム利用に必要な費用は設計金額に含まれている。
- (5) 利用にあたっては「東広島市発注工事における広島県工事中情報共有システム利用実施要

領」に基づくこと。

- (6) 運用にあたっては「広島県工事中情報共有システム運用ガイドライン」に基づくこと。

この場合においては、次のとおりとする。

- 1) 「1.3.適用する基準」のうち、「土木工事監督規定（広島県）」および「土木工事監督実施要領（広島県）」は「東広島市建設工事監督事務取扱要綱」と、「土木工事検査規定（広島県）」とあるのは「東広島市建設工事検査規定」と、「土木工事検査技術基準（広島県）」とあるのは「土木工事検査技術基準（東広島市）」と読み替えるものとする。
- 2) 「CAD製図基準（国土交通省）」および「CAD製図基準に関する運用ガイドライン（国土交通省）」は適用しない。
- 3) 「4.検査」は適用しない。
- 4) 検査は、発注者と協議のうえ、紙媒体による検査と電子検査の併用とすることができるものとする。
- 5) 受注者は、工事中情報共有システムにより処理した工事完成図について、電子成果品として納品するほか、紙の成果品も納品すること。

8. 熱中症対策に資する現場管理費の補正

- (1) 本工事は、工事現場の熱中症対策に資する経費に関して、現場管理費の補正を行う工事である。
- (2) 工期(工事の始期日から工事の終期日までの期間で、準備期間、施工に必要な実日数、不稼働日、後片付け期間の合計をいう。なお、検査期間13日、年末年始6日間（12月29日～1月3日）、夏季休暇3日間（国民の祝日である山の日次の日から土曜日、日曜日、振替休日を除く3日間とする。）、工場制作のみを実施している期間、工事全体を一時中止している期間は含まない。）期間中の真夏日の状況に応じて、変更契約時に現場管理費の補正を行うものとする。
- (3) 真夏日とは、日最高気温が30度以上の日をいう。また、日最高暑さ指数（WBGT）が25度以上の日をいう。
ただし、夜間工事のみの場合は、作業時間帯の最高気温または最高暑さ指数（WBGT）を対象とする。
- (4) 気温の計測箇所及び結果は、施工現場から最寄りの気象庁の地上気象観測所の気温または環境省が公表している観測地点の暑さ指数（WBGT）を用いることを標準とする。
- (5) 受注者は、工事期間中における気温の計測箇所、用いる計測値及び計測期間（計測開始日、計測終了予定日）を明記した施工計画書を工事着手前に提出し、計測結果を工事完成時までに監督職員に提出すること。
- (6) 受注者は、計測終了日について、工事完成時までに監督職員と協議するものとする。
- (7) 積算方法は次のとおりとする。
 - 1) 補正方法
ア 受注者より提出された計測結果の資料を基に、補正値を算出し現場管理費率に加算する。
なお、現場管理費率の補正は「積雪寒冷地域で施工時期が冬期となる場合の補正」、「緊急工事の場合」及び本補正値を合計し、2%を上限とする。
イ 真夏日率＝工期期間中の真夏日÷工期
ウ 補正値（%）＝真夏日率×1.2
 - 2) 補正値の計算結果は、パーセント表示で小数点3位を四捨五入して2位止めとする。
- (8) 受注者より、熱中症対策に資する現場管理費の補正が不要である旨の協議があった場合は、補正を行う工事から対象外とすることができる。
- (9) 検査職員から修補の指示があった場合、修補期間は対象外とする。

9. 主任(監理)技術者及び現場代理人の配置について

東広島市発注工事における主任(監理)技術者及び現場代理人の配置についての取り扱いは、「技術者等の適正配置について」によるものとする。

10. 法定外の労災保険の付保

- 1 本工事において、受注者は法定外の労災保険に付さなければならない。
- 2 受注者は、建設工事請負契約約款第47条に基づき、法定外の労災保険の契約締結をしたときは、その証券又はこれに代わるものを速やかに監督職員に提示しなければならない。
- 3 法定外の労災保険は、政府の労働者災害補償保険とは別に上乗せ給付等を行うことを目的とす

るものであり、（公財）建設業福祉共済団、（一社）全国建設業労災互助会、全日本火災共済協同組合連合会、（一社）全国労働保険事務組合連合会又は保険会社との間で、契約を締結しているものとする。

11. 週休2日適用工事等 週休2日（農林工事）

本工事は、週休2日適用工事（発注者指定型）であり、「東広島市週休2日適用工事等実施要領（農林工事）（最新版）」に従うこと。

なお、実施要領に基づき提出する必要がある様式「休日取得計画表」は「検査課HP＞施工関連資料＞週休2日適用工事等の実施について」に掲載している。

12. 建設副産物の取り扱いについて

本工事における建設副産物の取扱いについては、土木工事共通仕様書1-1-2-11 建設副産物のとおり取り扱うこととする。なお、「再生資源利用計画」、「再生資源利用促進計画」及び「実施書の提出」については、次のとおりとする。

1 再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画

受注者は、コンクリート、コンクリート及び鉄から成る建設資材、木材、アスファルト混合物等を工事現場に搬入する場合には、法令に基づき、再生資源利用計画を作成し、施工計画書に含め監督職員に提出しなければならない。また、受注者は、建設発生土、コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、建設発生木材、建設汚泥又は建設混合廃棄物等を工事現場から搬出する場合には、法令に基づき、再生資源利用促進計画（5の確認結果票を含む）を作成し、施工計画書に含め監督職員に提出しなければならない。なお、その内容に変更が生じたときは、速やかに利用計画及び促進計画を変更し、監督職員に報告しなければならない。

2 計画の掲示及び公表

受注者は、1の再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を工事現場の見やすい場所に掲示（デジタルサイネージによる掲示も可）し、公衆の閲覧に供するとともに、インターネットの利用により公表するよう努めるものとする。

現場掲示様式については、次のURLを参考に作成すること。

https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/region/recycle/d03project/d0306/page_03060101credas1top.htm

3 実施書の提出

受注者は、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を作成した場合には、工事完了後速やかに実施状況を記録した再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書を監督職員に提出しなければならない。なお、受注者は、再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書の作成後、工事完成から5年間保存しなければならない。

4 工事現場の管理体制

受注者は、再生利用の促進を行うため、工事現場における建設副産物責任者を置くことにより、管理体制を整備するとともに、当該責任者に対し、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画の内容について現場担当者の教育を十分行うこと及び、関係する他の施工者及び資材納入業者もこれを周知徹底することを指導するものとする。

5 建設発生土搬出に関する関係法令の手続きの確認及び確認結果票の作成

受注者は、再生資源利用促進計画の作成にあたり、建設発生土を工事現場から搬出する場合は、あらかじめ次に掲げる事項を確認し、また各事項の確認の結果を記載した書面（確認結果票）を作成しなければならない。

※確認結果票は「広島県の調達情報」に掲載している。

なお、対象となる工事は請負代金額が100万円以上、または建設発生土の搬出が500m³以上の工事を対象とする。

(1) 工事現場内の土地の掘削その他の土地の形質の変更が土壤汚染対策法（平成14年法律第53号）第3条第7項又は第4条第1項の規定による届出を要する場合にあっては、当該届出がされている。

(2) 再生資源利用促進計画に記載しようとする搬出先における建設発生土の搬入に係る行為に関する次に掲げる事項

(1) 当該行為が宅地造成及び特定盛土等規制法（昭和36年法律第191号。以下「盛土規制法」という）第12条第1項、第16条第1項、第30条第1項又は第35条第1項の規定による許可を要する場合にあっては、当該許可を受けている。

(2) 当該行為が盛土規制法第21条第1項、第27条第1項、第28条第1項又は第40条第1項の規

定による届出を要する場合にあっては、当該届出がされている。

- (3) 上記(1)、(2)に掲げる事項のほか、再生資源利用促進計画に記載しようとする搬出先が適正であることを確認するために必要な事項その他の建設発生土の搬出に関する事項

6 運搬業者への通知

受注者は、建設発生土の運搬を行う者に対し、再生資源利用促進計画及び確認結果票の内容を通知するものとする。またその内容に変更が生じたときには、速やかに運搬を行う者に通知するものとする。

7 確認結果票の掲示及び公表

受注者は、確認結果票を工事現場の見やすい場所に掲示（デジタルサイネージによる掲示も可）し、公衆の閲覧に供するとともに、インターネットの利用により公表するよう努めるものとする。

8 確認結果票の保管

受注者は、確認結果票を建設工事の完成後5年間保存するものとする。

9 建設発生土の搬出先に対する受領書の交付請求

受注者は、建設発生土を再生資源利用促進計画に記載した搬出先へ搬出したときは、速やかに当該搬出先の管理者（搬出先が工事現場である場合は、当該工事現場の受注者）に対し、次に掲げる事項を記載した受領書の交付を求めるものとする。

- (1) 建設発生土の搬出先の名称（搬出先が工事現場である場合は、建設工事の名称。）及び所在地
- (2) 建設発生土の搬出先の受注者の商号、名称又は氏名
- (3) 建設発生土の搬出元の名称及び所在地
- (4) 建設発生土の搬出量
- (5) 建設発生土の搬出が完了した日

10 建設発生土の搬入元への受領書の交付

受注者は、建設発生土を利用計画に記載した搬入元から搬入したときは、速やかに当該搬入元の管理者（搬入元が工事現場である場合は、当該工事現場の受注者）に対し、前号に掲げる事項を記載した受領書を交付するものとする。

11 受領書の内容確認

受注者は、搬出先から受領書の交付を受けたときは、再生資源利用促進計画に記載した内容と一致することを確認する。

12 受領書の保管

受注者は、受領書又はその写しを建設工事の完成後5年間保存するものとする。

13 建設発生土の最終搬出先までの確認

受注者は、建設発生土が再生資源利用促進計画に記載した搬出先（次の(1)から(4)のいずれかに該当する搬出先を除く。）から他の搬出先へ搬出されたときは、速やかに、当該他の搬出先への搬出に関する9(1)～(5)に関する事項を記載した書面を作成するとともに、当該書面を当該再生資源利用促進計画に係る建設工事の完成後5年間保存するものとする。建設発生土が更に他の搬出先へ搬出されたときも、同様とする。

- (1) 国又は地方公共団体が管理する場所であって、受入れ完了後に当該国又は地方公共団体が受領書を交付する場合
- (2) 受注者の管理下にある他の工事現場で利用するために一時堆積する場合
- (3) スtockヤード運営事業者登録規定により国に登録されたStockヤード
- (4) 9の受領書の土砂の利用種別が「盛土利用等」である建設発生土受入地（再搬出しないもの）

13. 猛暑時間の施工回避

- 1 本工事は、現場環境に応じて猛暑時間帯の現場作業を回避し、作業の開始時間や終了時間を発注者と協議し設定できる工事である。

- 2 実施方法は次のとおりとする。

(1) 内容

ア 受注者は、現場環境に応じて猛暑時間帯の現場作業を回避し、作業の開始時間や終了時間を監督職員と協議し設定できる。

イ 作業時間を短縮した場合は、短縮時間に応じて、工期を延長することができるものとする。

ウ 工事における現地の立会等については、監督職員の勤務時間に合わせるものとする。

エ 対象期間は、6月1日から9月30日までとする。

(2) 工期延長日数の算出方法

工期の延長日数^{※1}(日)＝短縮時間(時間)×対象期間^{※2}(日)÷8(時間)

なお、猛暑日等による作業不能日とは、別に考慮できるものとする。

※1 小数第1位を切り上げるものとする。

※2 現場閉所日を含む。

3 作業時間の変更に伴う工事費の増額については、設計変更の対象としない。

14. 猛暑日等を考慮した工期延長について

1 本工事は、工期に「猛暑日等による作業不能日」として、休日(土日、祝日、年末年始休暇及び夏期休暇)、降雨降雪日及び猛暑日日数を26日見込んでいる。

「猛暑日等による作業不能日」＝施工に必要な実日数×雨休率

雨休率(休日、降雨降雪日及び猛暑日日数による作業不能日を見込むための係数)： 0.7

雨休率に見込んでいる作業不能日は、次のとおりである。(過去5年間の気象庁及び環境省のデータより年間の平均発生日数を算出)

(1) 1日の降雨・降雪量が10mm/日以上の日： 31日/年

(2) 8時から17時までのWBGT値が31以上の時間を足し合わせた日数： 5日/年

2 ・著しい悪天候や気象状況より「猛暑日等による作業不能日」が当初見込んでいる日数と著しく乖離し、かつ作業を休止せざるを得なかった場合には、受注者は監督職員へ工期の延長変更を協議することができる。

・受注者は、協議の際に気象庁及び環境省の計測データ等を監督職員へ提出すること。計測データは、施工現場から最寄りの気象庁の地上気象観測所及び環境省が公表している観測地点を用いることを標準とする。

なお、提出する必要のある様式「猛暑日等による作業不能日算出表」は「広島県の調達情報HP>公共工事等の情報_様式集>建設工事関係_その他契約関係様式」に掲載している。

・費用は、工期延長日数に応じて「工事における工期の延長等に伴う増加費用の積算」(土木工事標準積算基準書(共通編)第I編総則 第9章)に基づき増加費用を積算し、変更契約において計上する。

15. 熱中症による健康障害発生時の対応計画

1 猛暑による厳しい環境下での現場作業[※]が見込まれる工事を対象とする。

※WBGT28度以上又は気温31度以上の環境下で、連続1時間以上又は1日4時間を超える作業

2 受注者は、熱中症のおそれがある労働者を把握した場合に、迅速かつ的確な判断ができるよう、「緊急連絡網、緊急搬送先の連絡先や所在地」及び「作業離脱、身体冷却、医療機関への搬送等の熱中症による重篤化を防止するために必要な措置の実施手順」などを施工計画書の「緊急時の体制及び対応」項目に記載するとともに、工事関係者へ周知すること。

第2章 施工条件

1. 用地

(1) 現場の復旧

工事用道路として使用した土地は、原形に復旧すること。農地を利用した場合は、地権者と復旧後の状態について同意を得ること。

2. 安全対策

(1) 交通誘導警備員・警戒船・保安要員

交通誘導警備員 ・交通誘導警備員は見込んでいない。ただし、現場条件の変更等により、交通誘導警備員の配置が必要となった場合には、事前に監督職員と協議を行った上で変更対象とする。

(2) 架空線の防護管に要する費用について

工事区域上空の架空線の防護管に要する費用については、現在見込んでいない。

架空線に近接した工事の施工に当たって、架空線管理者又は防護管施工会社(以下、「架空線管理者等」という)との協議により、架空線管理者等から防護管に要する費用負担を求められた場合、工事打合せ簿により監督職員と協議し、設計変更の対象とする。

設計変更の対象として認められる場合は、架空線管理者等からの見積書を提出すること。

3. 盛土・埋戻土

(1) 流用土(工事内流用)

本工事の施工により発生する土のうち、 226m³(地山土量) については当該工事の施工に流用するものと見込んでいる。

(2) 購入土(搬入)(新材料)(農地)

本工事では、 27m³(ほぐし) の土砂購入を見込んでいる。

4. 建設副産物

(1) 建設発生土(搬出) (建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地(一時たい積))

当該工事により発生する建設発生土は、公の関与する埋立地、建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地(一時たい積)のいずれかに搬出するものとする。また、搬出先として、運搬費と受入費(平日の受入費用)の合計が最も経済的になる建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地(一時たい積)を見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き残土処分に要する費用(単価)は変更しない。

ただし、災害復旧工事において、市が公募により決定した「災害発生土民間受入先」と受入について土質や搬出スケジュール等の協議が整えば、搬出先を「災害発生土民間受入先」に変更する場合がある。

当該工事で見込んでいる再資源化施設、運搬距離
貞重水路

(名称)	株式会社大地リサイクルセンター第9残土処分場
(所在地)	東広島市河内町入野字大内原987-1
(運搬距離)	10.0 k m

5. その他

(1) 工事現場発生物

次のとおり再利用すること。

- | | |
|-----|-----------------|
| ・品名 | 詰石 (ふとんかご) |
| 数量 | 5m ³ |
| ・品名 | 角フリューム200 |
| 数量 | 5本 |

第3章 その他

1. 工事関係書類

- (1) 工事関係書類の作成は、東広島市建設工事関係書類作成要領「土木工事編」によるものとする。
- (2) 工事関係書類の提出は、「契約関係書類」1部、「施工管理書類」は、工事打合せ簿による場合は2部、その他による場合は1部とする。

2. 工事写真

工事写真の撮影に当っては、広島県制定「写真管理基準(令和7年8月)」によるものとし、納品に当っては、電子媒体又は紙媒体、情報共有システム登録のいずれかと、紙媒体のダイジェスト版(着手前及び完成、主たる工種の施工状況)とする。

なお、電子納品物は「広島県電子納品実施要領」に準拠し、作成すること。

3. 疑義の解決等

本特記仕様書及び設計図書に明示していない事項または、その内容に疑義が生じた場合は、監督職員と協議し決定すること。

4. 仮設工

仮設工(任意)については、事前に設置方法を施工計画書にまとめ、監督職員へ提出すること。
なお、仮設方法については、正当な理由がある場合は、請負代金額の変更対象とする。

5. 暗渠排水の有無(農地)

現場作業着手前に、当該農地の既設暗渠排水の有無を確認すること。既設暗渠排水がある場合は、位置及び現在の排水機能について地権者等による立会確認を行うこと。

6. 工事の確認（農地）

当該農地の施工箇所及び仮設箇所、作業ヤード等は、現場作業完了後に地権者等による立会確認を行うこと。また、確認結果を監督職員に提出すること。

特記仕様書（施工箇所が点在する工事の積算） 【農業用施設災害復旧事業】

本案件は、施工箇所が点在する工事の適正な工事価格を算出するため、工事個所を基に次の算定方法とする。

算定方法

（１）工事原価

ア 直接工事費

施工数量及び施工規模等は工事箇所ごとに判断し、施工箇所ごとに直接工事費を算定する。

イ 間接工事費

（ア）共通仮設費

a 共通仮設費の率分

対象額は工事箇所ごとに算定し、主たる工種区分は、工事全体で判断する。

b 共通仮設費率の補正

工事箇所ごとに施工地域及び工事場所区分の補正を行う。

c 積上げ計算による部分

施工箇所ごとに必要な経費を積み上げる。

（イ）現場管理費

a 現場管理費の算定

対象とする純工事費は工事箇所ごとに算定する。

b 現場管理費の率分

対象額は工事箇所ごとに算定し、主たる工種区分は、工事全体で判断する。

c 現場管理費率の補正

工事箇所ごとに施工時期、工事期間、施工地域及び工事場所区分の補正を行う。

（２）一般管理費等

ア 一般管理費等の算定

対象とする工事原価は（１）の計による。

なお、処分費等が「共通仮設費対象額（P）＋準備費に含まれる処分費」に占める割合の３％を超える場合又は処分費等が３千万円を超える場合、率計算の対象については、工事箇所ごとに対象額を算出する。

工事箇所 A：

施工箇所 A1 尾崎農地

施工箇所 A2 貞重水路

工事数量総括表

頁 0 - 0001

費目・工種明細など		規格 1 ・ 規格 2	単 位		数量（今回）	備 考
本工事費						
尾崎農地			式		1	レベル 1
農地・農業用施設			式		1	レベル 2
土工			式		1	レベル 3
掘削		土砂	m3		188	レベル 4
床掘		土砂	式		1	レベル 4
埋戻		土砂	式		1	レベル 4
盛土		土砂	m3		178	レベル 4
土砂運搬工			式		1	レベル 3
購入土（ほぐし）		真砂土 設計CBR20以上	m3		27	レベル 4
構造物撤去工			式		1	レベル 3
既設ふとんかご			m		9	レベル 4
法面工			式		1	レベル 3
法面整形工		盛土部	m2		111	レベル 4
植生工		人工芝（幅 100cm程度）	m2		118	レベル 4
土留工			式		1	レベル 3
ふとんかご工		階段式 高さ50cm×幅120cm	m		29	レベル 4
畦畔復旧工			式		1	レベル 3

工事数量総括表

頁 0 - 0002

費目・工種明細など		規格 1 ・ 規格 2	単 位		数量 (今回)	備 考
畦畔築立			m		14.0	レベル 4
湧水処理工			式		1	レベル 3
暗渠排水工		φ 50 有孔管	m		13.9	レベル 4
仮設工			式		1	レベル 2
工事用道路工			式		1	レベル 3
工事用道路			式		1	レベル 4
直接工事費						
運搬費						
運搬費			式		1	レベル 2
運搬費			式		1	レベル 3
仮設材輸送			式		1	レベル 4
共通仮設費率分額						
共通仮設費計						
純工事費						
現場管理費						
工事原価						
一般管理費率分						
契約保証費						

工事数量総括表

頁 0 - 0003

[illegible]

工事数量総括表

頁 0 - 0001

費目・工種明細など		規格 1 ・ 規格 2	単 位		数量（今回）	備 考
本工事費						
貞重水路			式		1	レベル 1
農地・農業用施設			式		1	レベル 2
土工			式		1	レベル 3
掘削		土砂	m3		35	レベル 4
発生土盛土		土砂	m3		20	レベル 4
床堀		土砂	式		1	レベル 4
埋戻		土砂	式		1	レベル 4
残土処理工			式		1	レベル 3
土砂等運搬		土砂	式		1	レベル 4
法面整形工			式		1	レベル 3
法面整形（盛土部）		土砂	m2		21	レベル 4
植生工			式		1	レベル 3
人工張芝			m2		21	レベル 4
土留工			式		1	レベル 3
ふとんかご		階段式 高さ50cm×幅120cm	m		30	レベル 4
用排水路工			式		1	レベル 3
角フリューム布設替		W=200	m		10	レベル 4

工事数量総括表

頁 0 - 0002

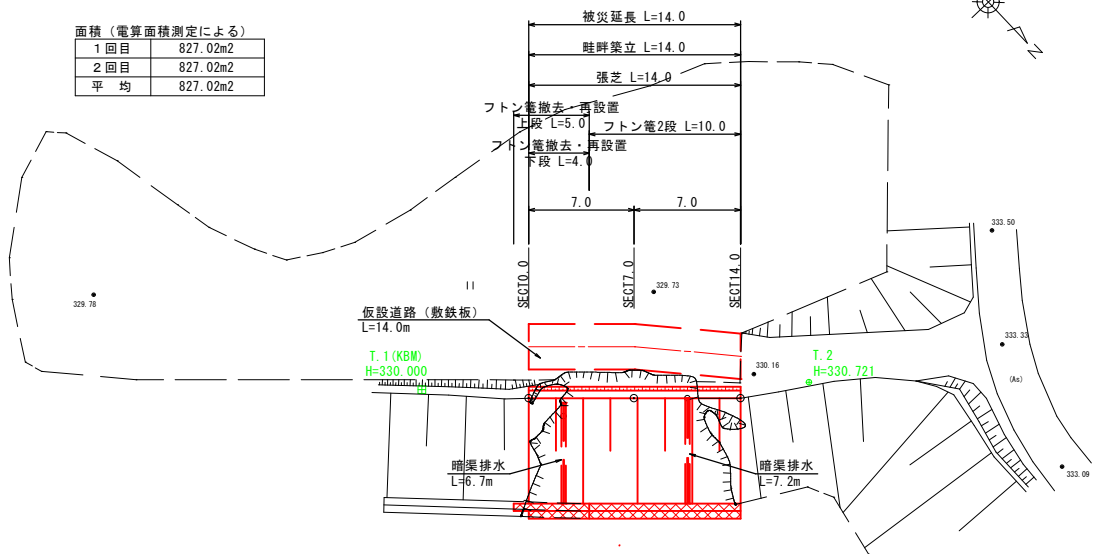
費目・工種明細など		規格 1 ・ 規格 2	単 位		数量（今回）	備 考
仮設工			式		1	レベル 2
工事用道路設置			式		1	レベル 3
敷鉄板設置			式		1	レベル 4
直接工事費						
運搬費						
運搬費			式		1	レベル 2
運搬費			式		1	レベル 3
仮設材輸送			式		1	レベル 4
共通仮設費率分額						
共通仮設費計						
純工事費						
現場管理費						
工事原価						
一般管理費率分						
契約保証費						
一般管理費計						
＊ ＊ 工事価格計 ＊ ＊						
＊ ＊ 消費税相当額計 ＊ ＊						

工事数量総括表

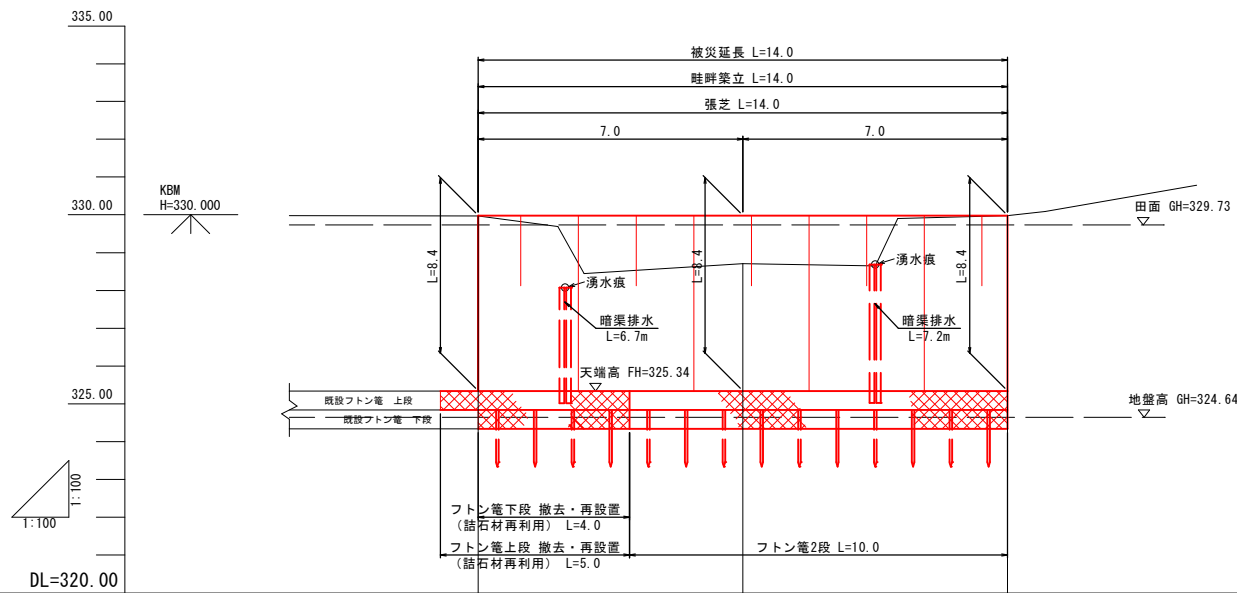
頁 0 - 0003

[illegible]

平面図 S= 1:250

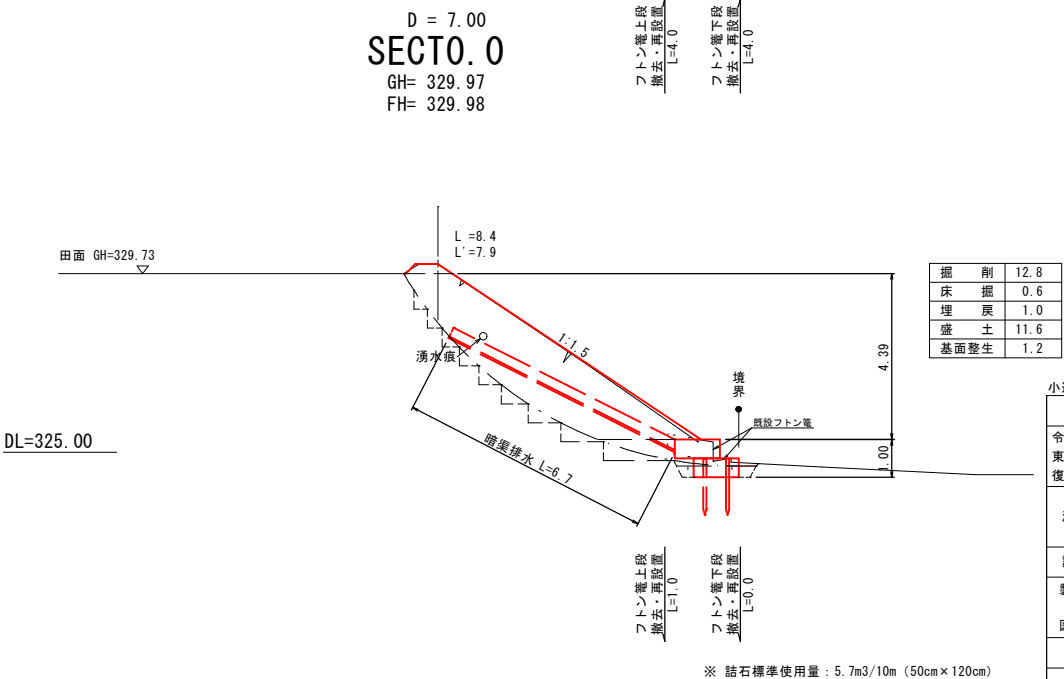
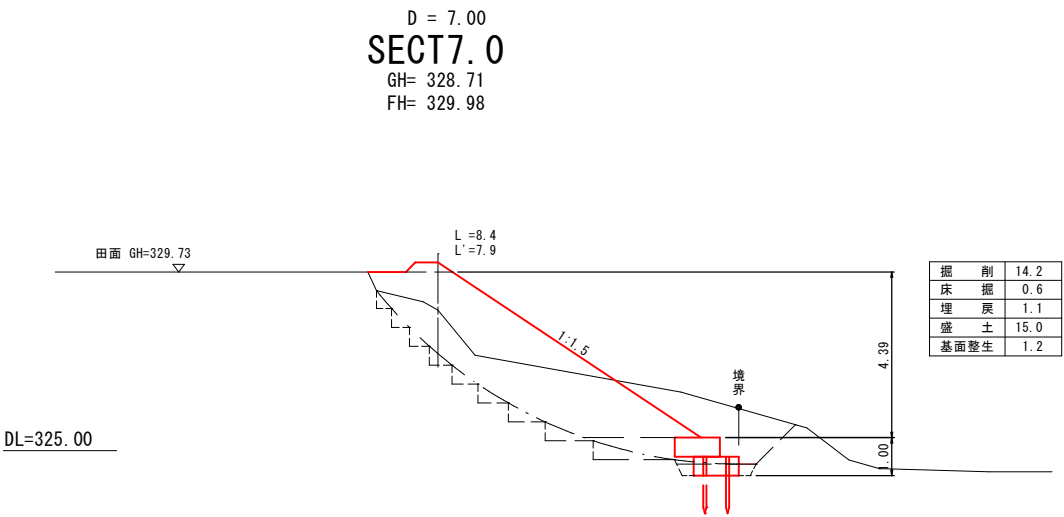
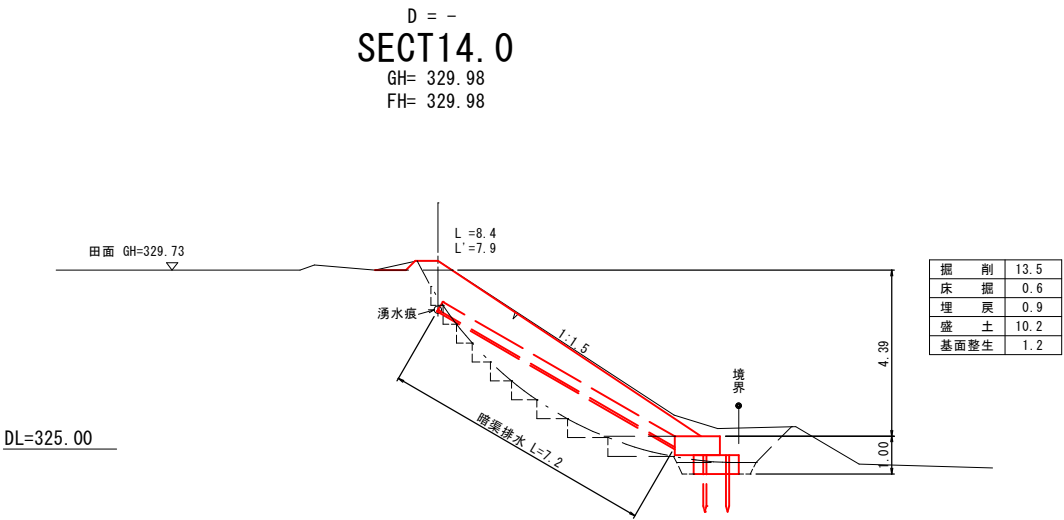


縦断面図 V = 1:100
H = 1:100



勾配	LEVEL L=14.00m		
盛土	0.01	1.27	
切土			
計画標高	329.98	329.98	329.98
地盤標高	329.97	328.71	329.98
追加距離	0.00	7.00	14.00
点間距離	0.00	7.00	7.00
測点	SECT 0.0	SECT 7.0	SECT 14.0

横断面図 S= 1:100



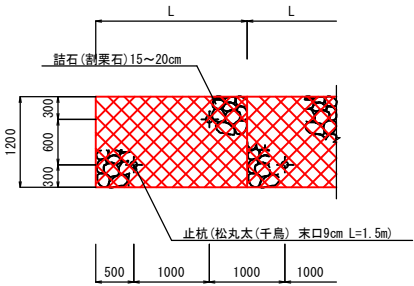
※ 詰石標準使用量：5.7m3/10m（50cm×120cm）

小運搬なし	
図面の名称	図面番号
令和7年8月6日～8月12日豪雨災害 東広島市高屋町 尾崎農地 復旧計画図	1/2
測量	令和 年 月 日終了
設計	
製原図	
図様写	

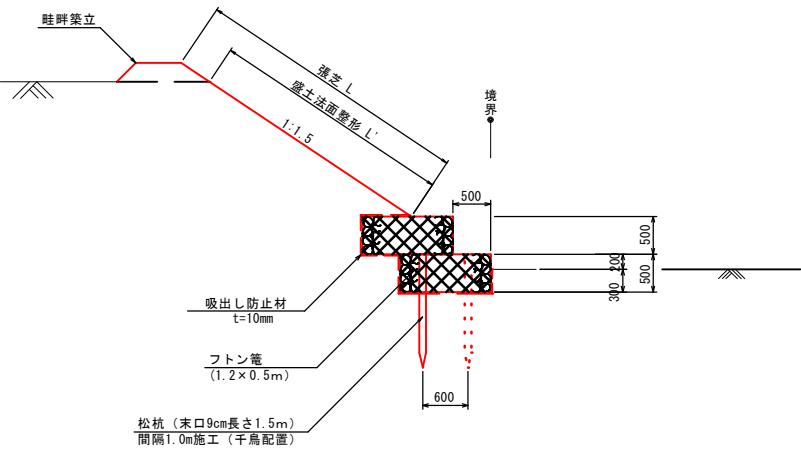
構造図

フトン竈 S=1:50

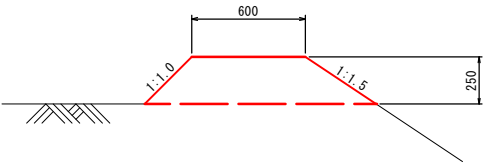
平面図



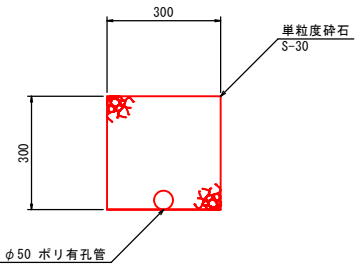
側面図



蛙畔築立 S=1:20



暗渠排水 S=1:10



暗渠排水 数量表		10m 当り	
名 称	規 格	単 位	数 量
砕石	S-30	m ³	0.88
有孔管	φ 50mm	m	10.00

〈参考図〉
仮設道路（敷鉄板）

S=1:30

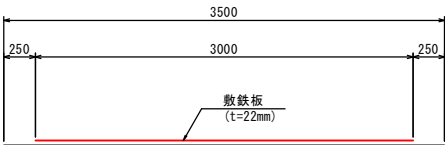
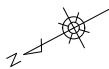


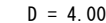
図 面 の 名 称		図面番号
令和7年8月6日～8月12日豪雨災害 東広島市高屋町 尾崎農地 復旧計画図		2 ／ 2
測 量		令和 年 月 日終了
設 計		
製	原 図	
図	複 写	

S= 1:250


$$V = 1:100$$

$$\begin{matrix} i=0.900\% \\ L=10.00m \end{matrix}$$

S= 1:100



GH= 200. 01
FH= 200. 01



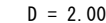
DL=195.00



GH= 199.94
FH= 199.94



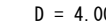
DL=195.00



GH= 200.03
FH= 200.03



DL=195.00



GH= 199.94
FH= 199.98



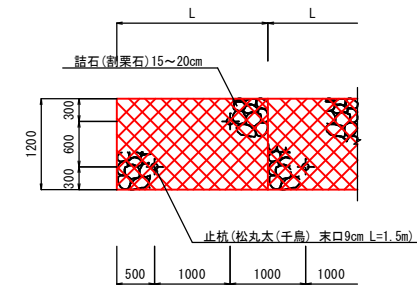
DL=195.00

建造図

S=1 : 50

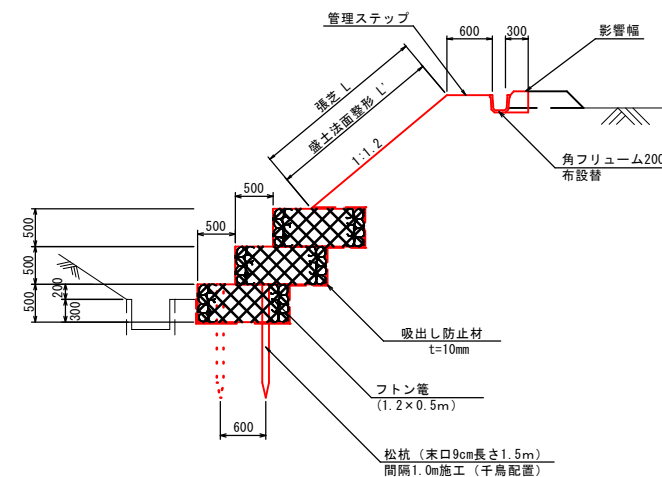
S=1:50

平面图



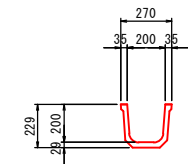
S=1 : 50

S=1 : 50



角フリューム200布設替

S=1:20



角フリューム200布設替 数量表			10m 当り
名 称	規 格	単位	数 量
角フリューム	200型 布設替	個	5.0

〈参考図〉

S=1:30

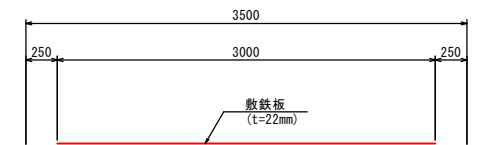


図 面 の 名 称		図 面 番 号
令和7年8月6日～8月12日豪雨災害 東広島市高屋町 貞重水路 復旧計画図		2 2
測 量		令和 年 月 日 終了
設 計		
製 図	原 図	
図 複 写		

参 考 図 書

工事名称：令和8年度

農業用施設災害復旧事業

高屋地区災害復旧工事(8-1)

＜注意事項＞

1 本工事は、数量公開の対象工事です。

2 この数量書は適正な積算のための参考指標として数量を示すものです。

数量は参考数量であり、設計図書ではありません。内容の如何にかかわらず、契約上の拘束をするものではありません。

3 その他

・当該工事により発生する建設発生土は、公の関与する埋立地、広島県制定の建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積）のいずれかに搬出するものとしている。搬出先として、次の施設を見込んでいる

種 別	施設の名称	所在地	運搬距離
砂・砂質土・礫 質土	大地リサイクル センター第9 残土処分場	東広島市河内町入 野字大内原 987-1	10.0 km

高屋地区災害復旧工事 (8-1)

工種区分： ほ場整備工事

週休2日補正： **補正あり**

地域補正区分： 中山間地域

真夏日補正率(熱中症対策補正值): 0.00%

[illegible][illegible]

総括情報表

変更回数 適用単価地区 単価適用日	0 44 東広島市 00-08.06.01(0)		
諸経費体系	9 公共(011015～)		
	当世代		前世代
諸経費工種 工事費端数区分 週休補正区分 施工地域・工事場所区分 契約保証費区分 前払支出割合区分 軽油区分 復興補正区分 I C T補正区分	01 ほ場整備工事 01 千円未満切捨 09 閉所型・月単位 05 中山間地域 01 金銭的保証(0.04%) 00 補正なし 00 一般軽油使用 00 補正なし 00 補正なし		

本工事費

内訳表

費目・工種・施工名称など		数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
本工事費											
尾崎農地										レベル 1	
		1			式						
農地・農業用施設										レベル 2	
		1			式						
土工										レベル 3	
		1			式						
掘削 土砂										レベル 4	
		188			m3						
掘削 土砂 上記以外(小規模) 標準										00	
		188			m3					単第 0 -0001号表	
床掘 土砂										レベル 4	
		1			式						
床掘り 土砂 上記以外(小規模)										00	
		7			m3					単第 0 -0002号表	
埋戻 土砂										レベル 4	
		1			式						

本工事費

内訳表

頁0 -0003

費目・工種・施工名称など	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
機械併用埋戻(小規模土工)									00	
盛土	14		m3						単第 0 -0003号表	
土砂	178		m3						レベル 4	
機械併用埋戻(小規模土工)									00	
土砂運搬工	178		m3						単第 0 -0003号表	
	1		式						レベル 3	
購入土(ほぐし)									レベル 4	
真砂土	27		m3							
設計CBR20以上										
土砂等運搬									00	
小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む)	22		m3						単第 0 -0006号表	
DID区間無し 距離19.0km以下(13.0km超)										
真砂土	27		m3						00	
光陽産業株式会社										
CBR20以上										
構造物撤去工									レベル 3	
	1		式							
既設ふとんかご									レベル 4	
	9		m							

本工事費

内訳表

頁0 -0004

費目・工種・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
ふとんかご 撤去 階段式 高さ50cm×幅120cm	9	m				00 単第 0 -0007号表
現場発生品及び支給品運搬	0.07	t				00
処分費対象額調整（直接工事費計上分） 「処分費等」の取扱いによる						
鉄屑(ヘビーH4) 厚さ1mm未満,幅高500mm以下 長さ1,200mm以下,質量1,000kg以下	-0.07	t				00
法面工	1	式				レベル3
法面整形工 盛土部	111	m2				レベル4
法面整形 盛土部 法面締固め無し 現場制約無し レキ質土,砂及び砂質土,粘性土	111	m2				00 単第 0 -0008号表
植生工 人工芝（幅 100cm程度）	118	m2				レベル4
芝付工 全面張 人工芝（幅 100cm程度）	118	m2				00 単第 0 -0009号表

本工事費

内訳表

頁0 -0005

費目・工種・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
土留工						レベル 3
	1		式			
ふとんかご工 階段式 高さ50cm×幅120cm	29		m			レベル 4
ふとんかご 設置 階段式 高さ50cm×幅120cm	20		m			00
ふとんかご(詰石再利用) 設置 階段式 高さ50cm×幅120cm	9		m			単第 0 -0010号表 00
止杭打込	14		本			単第 0 -0011号表 00
畦畔復旧工	1		式			単第 0 -0012号表 レベル 3
畦畔築立	14.0		m			レベル 4
畦畔復旧工 天端幅0. 2 0 m～0. 5 0 m程度	14.0		m			00
湧水処理工	1		式			単第 0 -0013号表 レベル 3

本工事費

内訳表

頁0 -0006

費目・工種・施工名称など		数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
暗渠排水工	φ50 有孔管	13.9	m							レベル 4	
	暗渠排水工 PP50 H300-W300	13.9	m							00	単第 0 -0015号表
仮設工		1	式							レベル 2	
	工事用道路工	1	式							レベル 3	
工事用道路		1	式							レベル 4	
	敷鉄板設置	42	m2							00	単第 0 -0018号表
	敷鉄板撤去	42	m2							00	
	敷鉄板賃料 22×1524×3048,802kg/枚 賃貸期間21日	10	枚							00	単第 0 -0020号表
直接工事費											単第 0 -0021号表

本工事費

内訳表

頁0 -0007

費目・工種・施工名称など		数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
運搬費							
運搬費							レベル 2
運搬費		1		式			レベル 3
運搬費		1		式			レベル 4
仮設材輸送		1		式			00
	仮設材等(鋼矢板,H鋼,覆工板,敷鉄板等)運搬 運搬距離 11.2km 製品長 12m以内	1		式			単第 0 -0022号表
共通仮設費率 分額							
共通仮設費計							
純工事費							
現場管理費							

本工事費

内訳表

頁0 -0008

費目・工種・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
工事原価						
一般管理費率分						
契約保証費						
一般管理費計						
※※工事価格計※※						
※※消費税相当額計※※						
※※請負工事費計※※						

施工単価表

掘削
土砂 上記以外(小規模)
機械構成比: 26.01%

SPK25040001

単第 0 -0001号表

標準
62.89%

労務構成比:

材料構成比: 11.10%

市場単価構成比: 0.00%

1
標準単価:

m3 当り
1,241.0000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ(クローラ型) 標準型・排2 山積0.28/平積0.2m3	26.01%		バックホウ(クローラ型) 標準型・排2 山積0.28/平積0.2m3		MTPC00062 MTPT00062
運転手(特殊)	62.89%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	11.10%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 土砂 E=7 標準			B=5 上記以外(小規模)		

施工単価表

頁0 -0010

床掘り
土砂 上記以外(小規模)
機械構成比: 18.73% 労務構成比: 74.16% 材料構成比: 7.11% 市場単価構成比: 0.00%

単第 0 -0002号表

1
標準単価: m3 2,247.4000 当り

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回型・排2 山積0.28/平積0.2m3	18.73%		バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回型・排2 山積0.28/平積0.2m3		MTPC00083 MTPT00083
運転手(特殊)	40.26%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
普通作業員	33.90%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	7.11%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 土砂 E=1 -(全ての費用)			B=5 上記以外(小規模)		

機械併用埋戻(小規模土工)

施工単価表

单第 0 -0003号表

頁0 -0011

1 m3 当り

[illegible]

施工単価表

機械投入(バックホウ)
土砂
機械構成比: 26.01% 労務構成比: 62.89% 材料構成比: 11.10% 市場単価構成比: 0.00%
SPK25040007 小規模(標準) 単第 0 -0004号表 1 m3 当り
標準単価: 1,093.9000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ(クローラ型) 標準型・排2 山積0.28/平積0.2m3	26.01%		バックホウ(クローラ型) 標準型・排2 山積0.28/平積0.2m3		MTPC00062 MTPT00062
運転手(特殊)	62.89%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	11.10%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 土砂			B=4 小規模(標準)		

单第 0 -0005号表

頁0 -0013

10

m3 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0014

土砂等運搬
小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む)
機械構成比: 26.52% 労務構成比: 61.90% 材料構成比: 11.58% 市場単価構成比: 0.00%

SPK25040002
DID区間無し 距離19.0km以下(13.0km超)

単第 0 -0006号表
1
標準単価: 4,194.3000
m3 当り

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 4t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	26.52%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 4t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00017T1 MTPT00017T1
運転手(一般)	61.90%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	11.58%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=2 小規模 C=1 土砂(岩塊・玉石混り土含む) F=52 距離19.0km以下(13.0km超)			B=5 バックホウ山積0.28m3(平積0.2m3) D=1 DID区間無し		

施工単価表

頁0 -0015

ふとんかご
撤去
機械構成比: 13.13%

SPK25040131
階段式 高さ50cm×幅120cm
労務構成比: 81.38%

単第 0 -0007号表
市場単価構成比: 0.00%

1
標準単価: 3,391.8000

m 当り

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ(クローラ型) 標準型・排3 山積0.8/平積0.6m3	13.13%		バックホウ(クローラ型) 標準型・排3 山積0.8/平積0.6m3		MTPC00152 MTPT00152
普通作業員	44.96%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	13.34%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
運転手(特殊)	13.03%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
土木一般世話役	10.05%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	5.49%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=2 撤去 C=2 高さ50cm×幅120cm			B=2 階段式		

施工単価表

頁0 -0016

法面整形
盛土部 法面締固め無し 現場制約無し
機械構成比: 11.87% 労務構成比: 75.95% 材料構成比: 12.18% 市場単価構成比: 0.00%

SPK25040025
レキ質土,砂及び砂質土,粘性土

単第 0 -0008号表
1
標準単価: 453.5800
m2 当り

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型) 山積0.8m3(平積0.6) 排1～3,2011,2014	11.87%		バックホウ クローラ型 山積0.8m3(平積0.6m3)		KTPC00018 KTPT00018
普通作業員	33.62%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
運転手(特殊)	28.67%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
土木一般世話役	13.66%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	12.18%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 盛土部 C=2 現場制約無し E=1 -(全ての費用)			B=2 法面締固め無し D=2 レキ質土,砂及び砂質土,粘性土		

施工単価表

頁0 -0017

单第 0 -0009号表

10

m2

当り

芝付工

全面張 人工芝（幅 100cm程度）

[illegible]

施工単価表

頁0 -0018

ふとんかご
設置

SPK25040131

単第 0 -0010号表

階段式 高さ50cm×幅120cm

1 m 当り

機械構成比: 5.35% 労務構成比: 33.16% 材料構成比: 61.49% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 16,637.0000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ(クローラ型) 標準型・排3 山積0.8/平積0.6m3	5.35%		バックホウ(クローラ型) 標準型・排3 山積0.8/平積0.6m3		MTPC00152 MTPT00152
普通作業員	18.32%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	5.44%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
運転手(特殊)	5.31%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
土木一般世話役	4.09%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
角形じゃかごパネルタイプ GS-3,線径4.0(#8) 網目13cm,高さ50cm,幅120cm	29.14%		ふとんかご角形パネルタイプ GS-3線径4.0mm(#8)網目13cm,50cm×120cm		TTPC00036 TTPT00036
割ぐり石 200～150mm	23.46%		詰石割栗石 150-200mm		TTPC00007 TTPT00007
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	2.23%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009

施工単価表

頁0 -0019

ふとんかご

SPK25040131

单第 0 -0010号表

設置

階段式 高さ50cm×幅120cm

1

m 当り

機械構成比: 5.35%

勞務構成比: 33.16%

材料構成比: 61.49%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価：

16,637.0000

[illegible]

ふとんかご(詰石再利用)
設置

頁0 -0020

10 m 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0021

止杭打込

SPK25040132

单第 0 -0012号表

1

本 当 り

機械構成比:	0.00%	勞務構成比:	72.78%	材料構成比:	27.22%	市場単価構成比:	0.00%	標準単価:	2,094.0000
--------	-------	--------	--------	--------	--------	----------	-------	-------	------------

[illegible]

施工単価表

頁0 -0022

蛙畔復旧工

天端幅0.20m~0.50m程度

单第 0 -0013号表

10 m 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0023

バックホウ運転 (賃料)

クローラ型山積0.45m³ (平積0.35m³)

单第 0 -0014号表

1 日 当り

[illegible]

暗渠排水工
PP50

PP50

H300-W300

单第 0 -0015号表

頁0 -0024

10 m 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0025

暗渠排水管
据付 直管 50～150mm
機械構成比: 0.00% 労務構成比: 51.18% 材料構成比: 48.82% 市場単価構成比: 0.00%
SPK25040093 ポリエチレン吸水管 呼び径50mm

単第 0 -0016号表
標準単価: 1 m 837.8500 当り

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	36.39%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	14.79%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
ポリエチレン吸水管(有孔・無孔) フィルターなし薄肉管,呼び径50mm 管厚2.0mm,有効長4000mm,質量1.3kg	48.82%		暗渠排水管 直管 呼び径75mm ポリエチレン吸水管		TTPCD0242 TTPT00188
積算単価			積算単価		E9999
A=1 据付 C=1 50～150mm G=1 -			B=1 直管 D=1 ポリエチレン吸水管 呼び径50mm I=1 -(全ての費用)		

施工単価表

頁0 -0026

フィルター材

SPK25040094

単第 0 -0017号表

単粒度碎石 4号 30-20

1 m3 当り

機械構成比: 15.92% 労務構成比: 59.88% 材料構成比: 24.20% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 7,288.4000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回・超低騒音・C機能・排2014 山積0.5/平積0.4m3,吊能力2.9t	15.61%		バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回・超低騒音・C機能・排2014 山積0.5/平積0.4m3,吊能力2.9t		MTPC00175 MTPT00175
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	27.92%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
運転手(特殊)	14.15%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
土木一般世話役	12.76%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
特殊作業員	3.88%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
その他(労務)			その他(労務)		ER009
単粒度碎石4号 30～20mm	19.75%		再生クラッシャーラン RC-40		TTPCD0130 TTPT00008
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	4.37%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013

施工単価表

頁0 -0027

フィルター材

SPK25040094

单第 0 -0017号表

单粒度碎石 4号 30-20

1

m3 当り

機械構成比: 15.92%

勞務構成比: 59.88%

材料構成比: 24.20%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価：

7,288.4000

[illegible]

敷鉄板設置

施工単価表

单第 0 -0018号表

頁0 -0028

100

m2

当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0029

機-28_バックホウ運転(賃料)

クレーン付2.9t吊_山積0.8m3

单第 0 -0019号表

1 日 当り

[illegible]

敷鉄板撤去

施工単価表

单第 0 -0020号表

頁0 -0030

100

m2

当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0031

单第 0 -0021号表

1 枚 当り

敷鉄板賃料

22×1524×3048,802kg/枚

貸貸期間21日

[illegible]

施工単価表

頁0 -0032

仮設材等(鋼矢板, H鋼, 覆工板, 敷鉄板等)運搬

運搬距離 11.2km 製品長 12m以内

单第 0 -0022号表

1 式 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0033

基本運賃

運搬距離 11.2km

製品長 12m以内 運搬質量 8.02t

单第 0 -0023号表

1 式 当り

[illegible]

積込み,取卸しに要する費用

1

式 当り

[illegible]

総括情報表

変更回数 適用単価地区 単価適用日	0 44 東広島市 00-08.06.01(0)		
諸経費体系	9 公共(011015～)		
	当世代		前世代
諸経費工種 工事費端数区分 週休補正区分 施工地域・工事場所区分 契約保証費区分 前払支出割合区分 軽油区分 復興補正区分 I C T補正区分	01 ほ場整備工事 01 千円未満切捨 09 閉所型・月単位 05 中山間地域 01 金銭的保証(0.04%) 00 補正なし 00 一般軽油使用 00 補正なし 00 補正なし		

本工事費

内訳表

費目・工種・施工名称など		数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
本工事費											
貞重水路										レベル 1	
		1			式						
農地・農業用施設										レベル 2	
		1			式						
土工										レベル 3	
		1			式						
掘削 土砂										レベル 4	
		35			m3						
掘削 土砂 上記以外(小規模) 標準以外										00	
		35			m3					単第 0 -0001号表	
発生土盛土 土砂										レベル 4	
		20			m3						
機械併用埋戻(小規模土工)										00	
		20			m3					単第 0 -0002号表	
床堀 土砂										レベル 4	
		1			式						

本工事費

内訳表

頁0 -0003

費目・工種・施工名称など	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
床掘り 土砂 上記以外(小規模)									00	
	6		m3						単第 0 -0005号表	
埋戻 土砂									レベル 4	
	1		式							
機械併用埋戻(小規模土工)									00	
	8		m3						単第 0 -0002号表	
残土処理工									レベル 3	
	1		式							
土砂等運搬 土砂									レベル 4	
	10		m3							
土砂等運搬 小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む) DID区間無し 距離12.0km以下(9.0km超)									00	
	10		m3						単第 0 -0006号表	
処分費対象額調整(直接工事費計上分) 「処分費等」の取扱いによる										
処分費 建設発生土									00	
	10		m3							
法面整形工									レベル 3	
	1		式							

本工事費

内訳表

頁0 -0004

費目・工種・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
法面整形（盛土部） 土砂	21	m2				レベル4
法面整形 盛土部 法面締固め無し 現場制約無し レキ質土,砂及び砂質土,粘性土	21	m2				00 単第 0 -0007号表
植生工	1	式				レベル3
人工張芝	21	m2				レベル4
芝付工 全面張 人工芝（幅 100cm程度）	21	m2				00 単第 0 -0008号表
土留工	1	式				レベル3
ふとんかご 階段式 高さ50cm×幅120cm	30	m				レベル4
ふとんかご 設置 階段式 高さ50cm×幅120cm	30	m				00 単第 0 -0009号表
止杭打込 末口9cm L=1.5m	10	本				00 単第 0 -0010号表

本工事費

内訳表

費目・工種・施工名称など	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
用排水路工									レベル 3	
	1			式						
角フリューム布設替 W=200									レベル 4	
	10			m						
角フリューム布設替									00	
	10			m					単第 0 -0011号表	
仮設工									レベル 2	
	1			式						
工事用道路設置									レベル 3	
	1			式						
敷鉄板設置									レベル 4	
	1			式						
敷鉄板設置									00	
	300			m2					単第 0 -0014号表	
敷鉄板撤去									00	
	300			m2					単第 0 -0016号表	
敷鉄板賃料 22×1524×3048,802kg/枚 賃貸期間11日									00	
	66			枚					単第 0 -0017号表	

本工事費

内訳表

頁0 -0006

	費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
直接工事費						
運搬費						
運搬費		1	式			レベル 2
運搬費		1	式			レベル 3
仮設材輸送		1	式			レベル 4
	仮設材等(鋼矢板,H鋼,覆工板,敷鉄板等)運搬 運搬距離 9.9km 製品長 12m以内	1	式			00
共通仮設費率 分額						単第 0 -0018号表
共通仮設費計						
純工事費						

施工単価表

掘削
土砂 上記以外(小規模)
機械構成比: 20.13%
SPK25040001
標準以外
71.97%
労務構成比:
材料構成比: 7.90%
市場単価構成比: 0.00%
単第 0 -0001号表
標準単価: 1
m3 当り
2,678.7000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
小型バックホウ(クローラ型) 標準型・排2 山積0.13/平積0.10m3	20.13%		小型バックホウ(クローラ型) 標準型・排2 山積0.13/平積0.10m3		MTPC00077 MTPT00077
運転手(特殊)	71.97%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	7.90%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 E=8 土砂 標準以外			B=5 上記以外(小規模)		

施工単価表

单第 0 -0002号表

1 m3 当り

[illegible]

施工単価表

機械投入(バックホウ)
土砂
機械構成比: 20.13% 労務構成比: 71.97% 材料構成比: 7.90% 市場単価構成比: 0.00%

SPK25040007
小規模(標準以外)

単第 0 -0003号表
標準単価: 1,827.3000
1 m3 当り

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
小型バックホウ(クローラ型) 標準型・排2 山積0.13/平積0.10m3	20.13%		小型バックホウ(クローラ型) 標準型・排2 山積0.13/平積0.10m3		MTPC00077 MTPT00077
運転手(特殊)	71.97%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	7.90%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 土砂			B=5 小規模(標準以外)		

埋戻(人力)
砂・砂質土

頁0 -0011

10

m3

当り

[illegible]

施工単価表

床掘り
土砂 上記以外(小規模)
機械構成比: 18.73% 労務構成比: 74.16% 材料構成比: 7.11% 市場単価構成比: 0.00%

単第 0 -0005号表

1
標準単価: m3 2,247.4000 当り

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回型・排2 山積0.28/平積0.2m3	18.73%		バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回型・排2 山積0.28/平積0.2m3		MTPC00083 MTPT00083
運転手(特殊)	40.26%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
普通作業員	33.90%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	7.11%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 土砂 E=1 -(全ての費用)			B=5 上記以外(小規模)		

施工単価表

頁0 -0013

土砂等運搬
小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む)
機械構成比: 20.25% 労務構成比: 71.03% 材料構成比: 8.72% 市場単価構成比: 0.00%

SPK25040002
DID区間無し 距離12.0km以下(9.0km超)

単第 0 -0006号表
1
標準単価: 5,980.7000
m3 当り

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 2t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	20.25%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 2t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00016T1 MTPT00016T1
運転手(一般)	71.03%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	8.72%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=2 小規模 C=1 土砂(岩塊・玉石混り土含む) F=44 距離12.0km以下(9.0km超)			B=6 バックホウ山積0.13m3(平積0.1m3) D=1 DID区間無し		

施工単価表

頁0 -0014

法面整形
盛土部 法面締固め無し 現場制約無し
機械構成比: 11.87% 労務構成比: 75.95% 材料構成比: 12.18% 市場単価構成比: 0.00%

SPK25040025
レキ質土,砂及び砂質土,粘性土

単第 0 -0007号表
1
標準単価: 453.5800
m2 当り

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型) 山積0.8m3(平積0.6) 排1〜3,2011,2014	11.87%		バックホウ クローラ型 山積0.8m3(平積0.6m3)		KTPC00018 KTPT00018
普通作業員	33.62%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
運転手(特殊)	28.67%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
土木一般世話役	13.66%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
軽油 パトロール給油,2〜4KL積載車給油	12.18%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 盛土部 C=2 現場制約無し E=1 -(全ての費用)			B=2 法面締固め無し D=2 レキ質土,砂及び砂質土,粘性土		

施工単価表

頁0 -0015

单第 0 -0008号表

10

m2

当り

芝付工

全面張 人工芝 (幅 100cm程度)

[illegible]

施工単価表

頁0 -0016

ふとんかご

SPK25040131

単第 0 -0009号表

設置

階段式 高さ50cm×幅120cm

1

m 当り

機械構成比: 5.35%

労務構成比: 33.16%

材料構成比: 61.49%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

16,637.0000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ(クローラ型) 標準型・排3 山積0.8/平積0.6m3	5.35%		バックホウ(クローラ型) 標準型・排3 山積0.8/平積0.6m3		MTPC00152 MTPT00152
普通作業員	18.32%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	5.44%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
運転手(特殊)	5.31%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
土木一般世話役	4.09%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
角形じゃかごパネルタイプ GS-3,線径4.0(#8) 網目13cm,高さ50cm,幅120cm	29.14%		ふとんかご角形パネルタイプ GS-3線径4.0mm(#8)網目13cm,50cm×120cm		TTPC00036 TTPT00036
割ぐり石 200～150mm	23.46%		詰石割栗石 150-200mm		TTPC00007 TTPT00007
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	2.23%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009

施工単価表

頁0 -0017

ふとんかご

SPK25040131

单第 0 -0009号表

設置

階段式 高さ50cm×幅120cm

1

m 当り

機械構成比: 5.35%

勞務構成比: 33.16%

材料構成比: 61.49%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価：

16,637.0000

[illegible]

施工単価表

頁0 -0018

止杭打込

SPK25040132

单第 0 -0010号表

1

本 当り

末口9cm L=1.5m

機械構成比: 0.00%

勞務構成比: 72.78%

材料構成比: 27.22%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価：

2,094.0000

[illegible]

角フリューム布設替

施工単価表

单第 0 -0011号表

頁0 -0019

10 m 当り

[illegible]

角フリューム設置 KF-200

頁0 -0020

1 m 当り

[illegible]

角フリューム撤去 KF-200

頁0 -0021

1 m 当り

[illegible]

敷鉄板設置

施工単価表

单第 0 -0014号表

頁0 -0022

100

m2

当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0023

機-28_バックホウ運転(賃料)

クレーン付2.9t吊_山積0.8m3

单第 0 -0015号表

1 目 当り

[illegible]

敷鉄板撤去

施工単価表

单第 0 -0016号表

頁0 -0024

100

m2

当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0025

单第 0 -0017号表

1 枚 当り

敷鉄板賃料

22×1524×3048,802kg/枚

貸貸期間11日

[illegible]

施工单価表

頁0 -0026

假設材等(鋼矢板, H鋼, 覆工板, 敷鉄板等)運搬

運搬距離 9.9km 製品長 12m以内

单第 0 -0018号表

1 式 当り

[illegible]

基本運賃
運搬距離 9.9km

頁0 -0027

1 式 当り

製品長 12m以内 運搬質量 52.93t

[illegible]

積込み,取卸しに要する費用

1

式 当り

[illegible]

設 計 数 量 総 括 表

【当初】

工 種 レベル2	種 別 レベル3	細 別 レベル4	規 格 1／規 格 2 レベル5	単位	元設計数量		摘 要
					計算数量	設計数量	
	土工						
		掘削	土砂	m3	188.3	188	
		床掘		m3	7.0	7	
		埋戻		m3	14.4	14	
		盛土		m3	178.1	178	
		基面整正		m2	16.8	17	
	不足土						
		不足土		m3	26.5	27	22.1×1.2
	運搬工						
		不足土運搬	土砂	m3	22.1	22	
	構造物撤去工						
		既設フトン竈	階段式 高さ50 c m×幅120 c m	m	9.0	9	3.2+1.4=4.6m3
	法面整形工						
		法面整形	盛土部	m2	110.6	111	
	植生工						
		張芝		m2	117.6	118	
	かご工						
		フトン竈	階段式 高さ50 c m×幅120 c m	m	20.0	20	
		フトン竈(詰石再利用)	階段式 高さ50 c m×幅120 c m	m	9.0	9	
		止杭	末口9 c m L=1.5m	本	14.0	14	9.0+4.0
	畦畔復旧工						
		畦畔築立	W=0.5m,H=0.25m	m	14.0	14.0	
	用排水路工						
		暗渠排水	碎石巻立, 有孔管50mm	m	13.9	13.9	
	仮設工						
		敷鉄板	設置・撤去	m2	42.0	42	
		敷鉄板	賃料	枚	10.0	10	
輸送費							
	運搬費						
		仮設材輸送		式	1.0	1	運搬重量=8.02t

土 量 配 分 表

掘削
188.3

$181.3 \div 0.9 = 201.4$

盛土
181.3
(畦畔含む)

床掘
7.0

$14.4 \div 0.9 = 16.0$

埋戻
14.4

他箇所からの流用
0.0

$188.3 + 7.0 + 0.0 - 201.4 - 16.0 = -22.1$

不足土
-22.1

各種数量計算書

尾崎農地

測点名	距離	掘削			床掘			埋戻			盛土		
		断面	平均	数量	断面	平均	数量	断面	平均	数量	断面	平均	数量
SECT0.0	-	12.8			0.6			1.0			11.6		
SECT7.0	7.0	14.2	13.50	94.5	0.6	0.60	4.2	1.1	1.05	7.4	15.0	13.30	93.1
SECT14.0	7.0	13.5	13.85	97.0	0.6	0.60	4.2	0.9	1.00	7.0	10.2	12.60	88.2
控除：フトン箆詰石				-3.2			-1.4						
		控除：既設フトン箆詰石 フトン箆規格50cm×120cm 詰石標準使用量=5.7m ³ /10m 上段=5.7×(4/10) =2.3 下段=5.7×(4/10)×0.4=0.9 ※下段体積の4割が掘削範囲 ΣV=2.3+0.9=3.2m ³			控除：既設フトン箆詰石 フトン箆規格50cm×120cm 詰石標準使用量=5.7m ³ /10m 下段=5.7×(4/10)×0.6=1.4m ³ ※下段体積の6割が床掘範囲								
											小計	(盛土材)	181.3
											畦畔控除	0.228*14	(3.2)
合 計	14.0			188.3			7.0			14.4	盛土工	181.3-3.2	178.1

[illegible]

尾崎農地

[illegible]

尾崎農地

各種数量計算書													
尾崎農地													
測点名	距離	法面整形（盛土部）			張芝								
		法長	平均	数量	法長	平均	数量	断面	平均	数量	延長	平均	数量
SECT0.0	-	7.9			8.4								
SECT7.0	7.0	7.9	7.90	55.3	8.4	8.40	58.8						
SECT14.0	7.0	7.9	7.90	55.3	8.4	8.40	58.8						
合計	14.0			110.6			117.6						

各種数量計算書													
尾崎農地													
測点名	距離	フトン箆			止杭								
		段	平均	数量	本	平均	数量	断面	平均	数量	断面	平均	数量
SECT0.0+4.0	-	2.0			1.0								
SECT7.0	3.0	2.0	2.0	6.0	1.0	1.00	3.0						
SECT14.0	7.0	2.0	2.0	14.0	1.0	1.00	7.0						
合計	10.0			20.0			10.0						

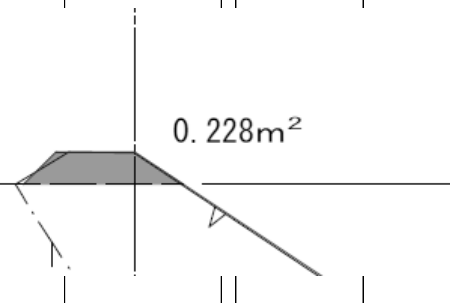
各種数量計算書

尾崎農地

測点名	距離	フトン竈(詰石再利用)			止杭								
		段	平均	数量	本	平均	数量	断面	平均	数量	断面	平均	数量
SECT0.0-1.0	-	1.0											
SECT0.0	1.0	1.0	1.0	1.0									
SECT0.0	0.0	2.0			1.0								
SECT0.0+4.0	4.0	2.0	2.0	8.0	1.0	1.00	4.0						
合計	5.0			9.0			4.0						

各種数量計算書

尾崎農地

測点名	距離	畦畔築立			暗渠排水								
		延長	平均	数量	断面	平均	数量	断面	平均	数量	断面	平均	数量
SECT0.0	-	1.0					6.7						
SECT7.0	7.0	1.0	1.00	7.0									
SECT14.0	7.0	1.0	1.00	7.0			7.2						
合計	14.0			14.0									
													
畦畔体積	$14 \times 0.228 = 3.192$			3.2									
							13.9						

設 計 数 量 総 括 表

【当初】

101/212 貞重水路 ^{1/9}

工 種 レベル 2	種 別 レベル 3	細 別 レベル 4	規 格 1/規 格 2 レベル 5	単位	元設計数量		摘 要
					計算数量	設計数量	
	土工						
		掘削	土砂	m3	34.6	35	
		床掘		m3	6.0	6	
		埋戻		m3	8.4	8	
		盛土		m3	19.5	20	
		基面整正		m2	12.0	12	
	運搬工						
		残土運搬	土砂	m3	9.6	10	
	処分費						
		建設発生土受入費	残土	m3	9.6	10	
	法面整形工						
		法面整形	盛土部	m2	20.6	21	
	植生工						
		張芝		m2	20.6	21	
	かご工						
		フトン簀	階段式 高さ50 c m×幅120 c m	m	30.0	30	
		止杭	末口9 c m L=1.5m	本	10.0	10	
	用排水路工						
		角フリューム200 布設替	KF-200	m	10.00	10.0	
	仮設工						
		敷鉄板	設置・撤去	m2	300.0	300	
		敷鉄板	賃料	枚	66.0	66	
輸送費							
	運搬費						
		仮設材輸送		式	1.0	1	運搬重量=52.93t

土 量 配 分 表

掘削
34.6

床掘
6.0

他箇所からの流用
0.0

$19.5 \div 0.9 = 21.7$

$8.4 \div 0.9 = 9.3$

$34.6 + 6.0 + 0.0 - 21.7 - 9.3 = 9.6$

盛土
19.5

埋戻
8.4

残土処分
9.6

各種数量計算書

貞重水路

測点名	距離	掘削			床掘			埋戻			盛土		
		断面	平均	数量	断面	平均	数量	断面	平均	数量	断面	平均	数量
SECT0.0	-	3.7			0.6			0.8			1.9		
SECT2.0	2.0	2.9	3.30	6.6	0.6	0.60	1.2	0.8	0.80	1.6	1.8	1.85	3.7
SECT6.0	4.0	3.7	3.30	13.2	0.6	0.60	2.4	0.9	0.85	3.4	2.1	1.95	7.8
SECT10.0	4.0	3.7	3.70	14.8	0.6	0.60	2.4	0.8	0.85	3.4	1.9	2.00	8.0
合計	10.0			34.6			6.0			8.4			19.5

各 種 数 量 計 算 書													
貞重水路													
測 点 名	距 離	基面整正											
		延 長	平 均	数 量	断 面	平 均	数 量	断 面	平 均	数 量	断 面	平 均	数 量
SECT0.0	-	1.2											
SECT2.0	2.0	1.2	1.20	2.4									
SECT6.0	4.0	1.2	1.20	4.8									
SECT10.0	4.0	1.2	1.20	4.8									
合 計	10.0			12.0									

貞重水路

各種数量計算書													
貞重水路													
測 点 名	距 離	法面整形（盛土部）			張芝								
		法 長	平 均	数 量	法 長	平 均	数 量	断 面	平 均	数 量	延 長	平 均	数 量
SECT0.0	-	2.0			2.0								
SECT2.0	2.0	2.0	2.00	4.0	2.0	2.00	4.0						
SECT6.0	4.0	2.1	2.05	8.2	2.1	2.05	8.2						
SECT10.0	4.0	2.1	2.10	8.4	2.1	2.10	8.4						
合 計	10.0			20.6			20.6						

各種数量計算書

貞重水路

測点名	距離	フトン竈			止杭								
		段	平均	数量	本	平均	数量	断面	平均	数量	断面	平均	数量
SECT0.0	-	3.0			1.0								
SECT2.0	2.0	3.0	3.0	6.0	1.0	1.00	2.0						
SECT6.0	4.0	3.0	3.0	12.0	1.0	1.00	4.0						
SECT10.0	4.0	3.0	3.0	12.0	1.0	1.00	4.0						
合計	10.0			30.0			10.0						

各 種 数 量 計 算 書													
貞重水路													
測 点 名	距 離	角フリューム200布設替											
		延 長	平 均	数 量	断 面	平 均	数 量	断 面	平 均	数 量	断 面	平 均	数 量
SECT0.0	-	1.0											
SECT2.0	2.0	1.0	1.00	2.00									
SECT6.0	4.0	1.0	1.00	4.00									
SECT10.0	4.0	1.0	1.00	4.00									
合 計	10.0			10.00									

貞重水路

各種数量計算書													
貞重水路													
測点名	距離	畦畔築立											
		延長	平均	数量	断面	平均	数量	断面	平均	数量	断面	平均	数量
SECT0.0	—	1.0											
SECT2.0	2.0	1.0	1.00	2.0									
SECT6.0	4.0	1.0	1.00	4.0									
SECT10.0	4.0	1.0	1.00	4.0									
合計	10.0			10.0									

貞重水路